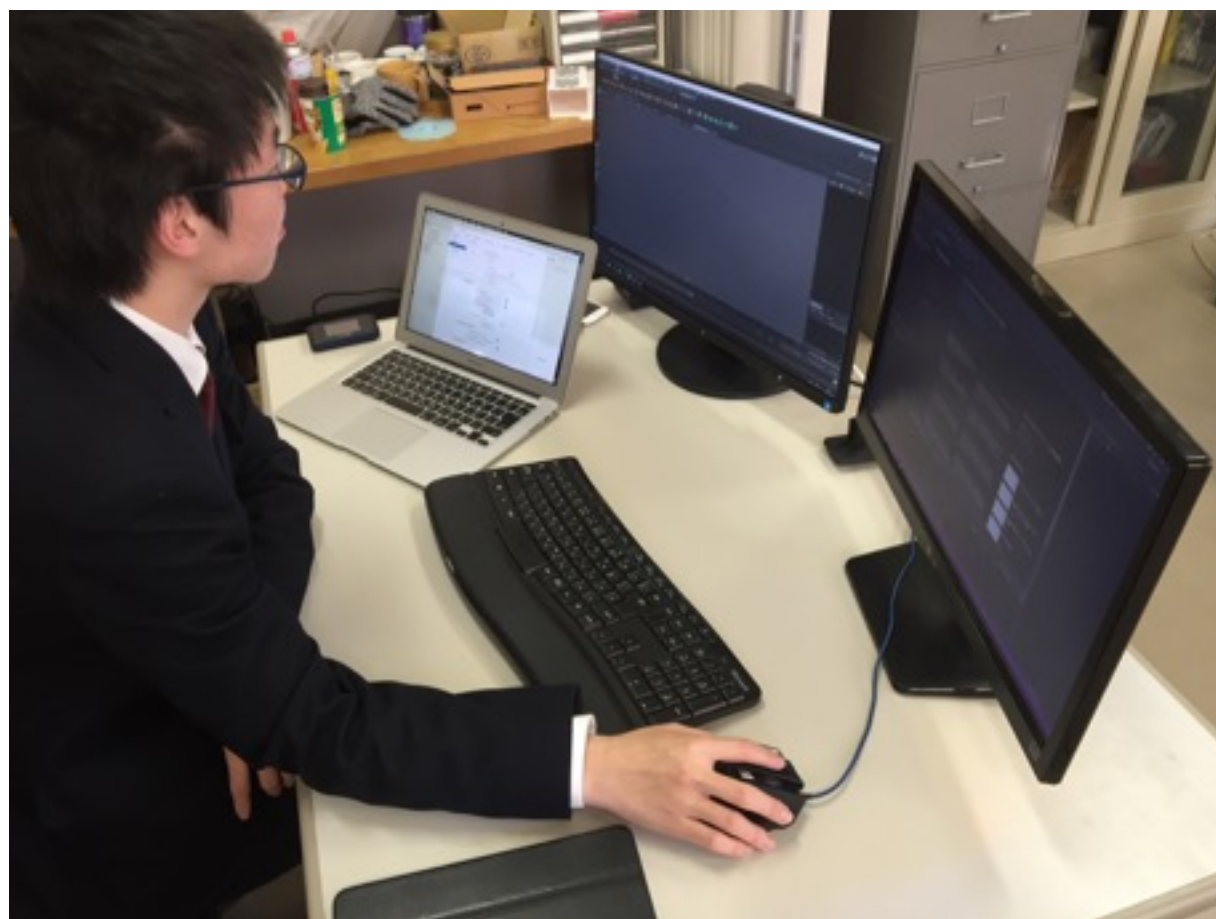


小中学生のための統計情報ポータルサイト 「**e-Stat Junior**」の提案

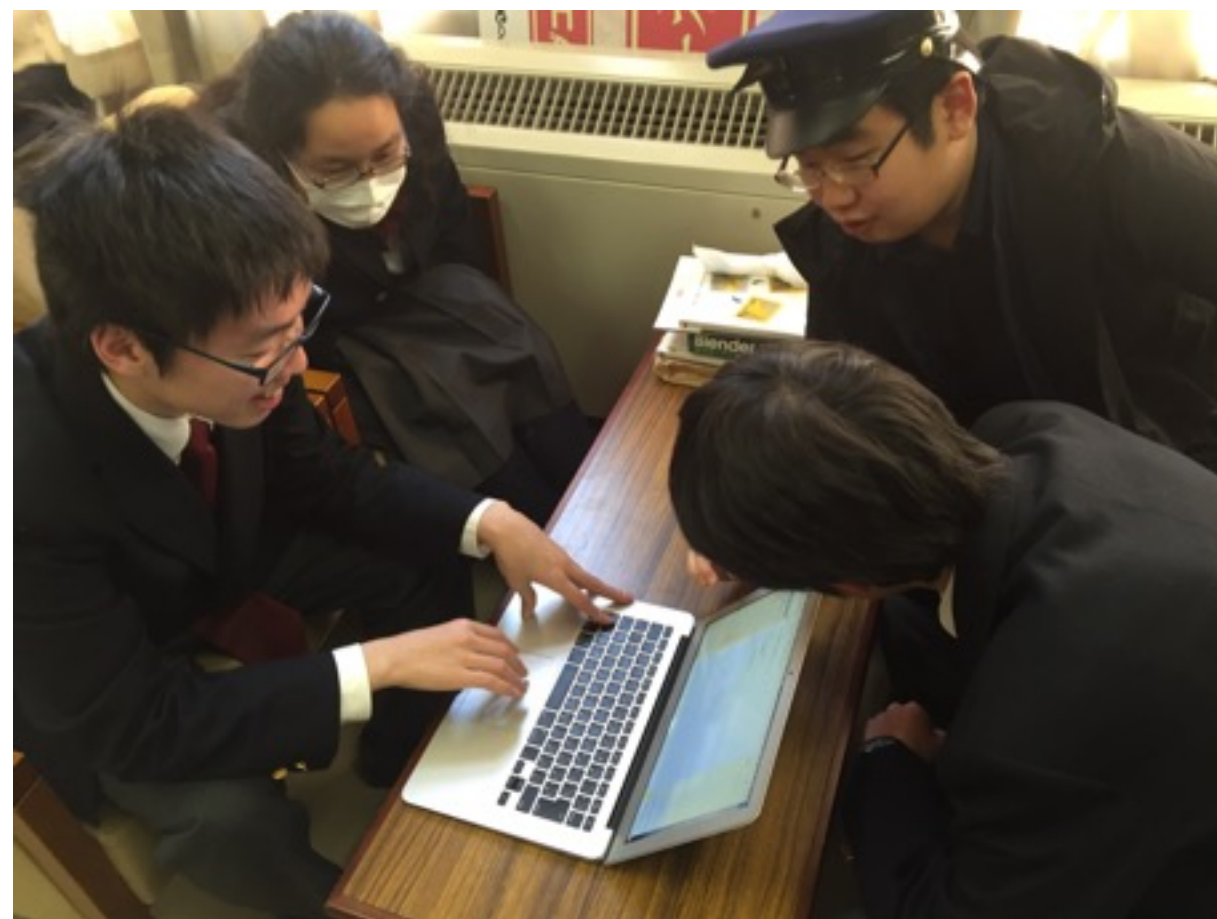
関西学院高等部数理科学部

佐々木 雄司 小林 優斗 中村 紗彩 福井 昌則

① 佐々木の実体験



② 部内での議論



① 佐々木の実体験

統計グラフコンクールに
ポスター出品

e-Statを利用してデータ収集

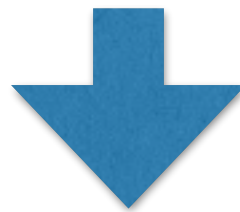
- ・ 難解な用語が多い
- ・ 情報量が多すぎる
- ・ 目的のデータが見つげづらい



使いづらかった

②部内での議論

小学校時代の調べ学習で何を扱ったかについて議論
扱ったテーマは“エネルギー”, “地震”, “原発”, “原爆”
“戦争”, “日本と他国との関係性” など



そして, e-Statを使ったかという話になったが . . .

e-Statを知らない, 知っていても活用できない

現状

e-Stat Junior



※1

- 統計への関心高める
- 統計の使い方を学習



※2

データ収集を行い
多くの情報を活用

現状

e-Stat Junior



※1

- ・ ギャップが大きい
- ・ 現場の先生も同意見

※2

- 小中学生にとって難解で使いづらい
- そもそも知られていない
- 先生も生徒におすすすめしづらい

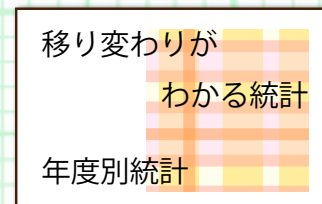
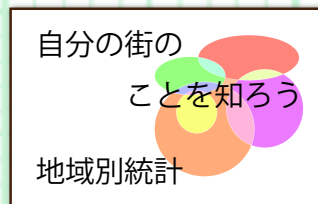
小中学生のための統計情報ポータルサイト
e-Stat Junior

小学生

中学生

e-Stat Junior

検索



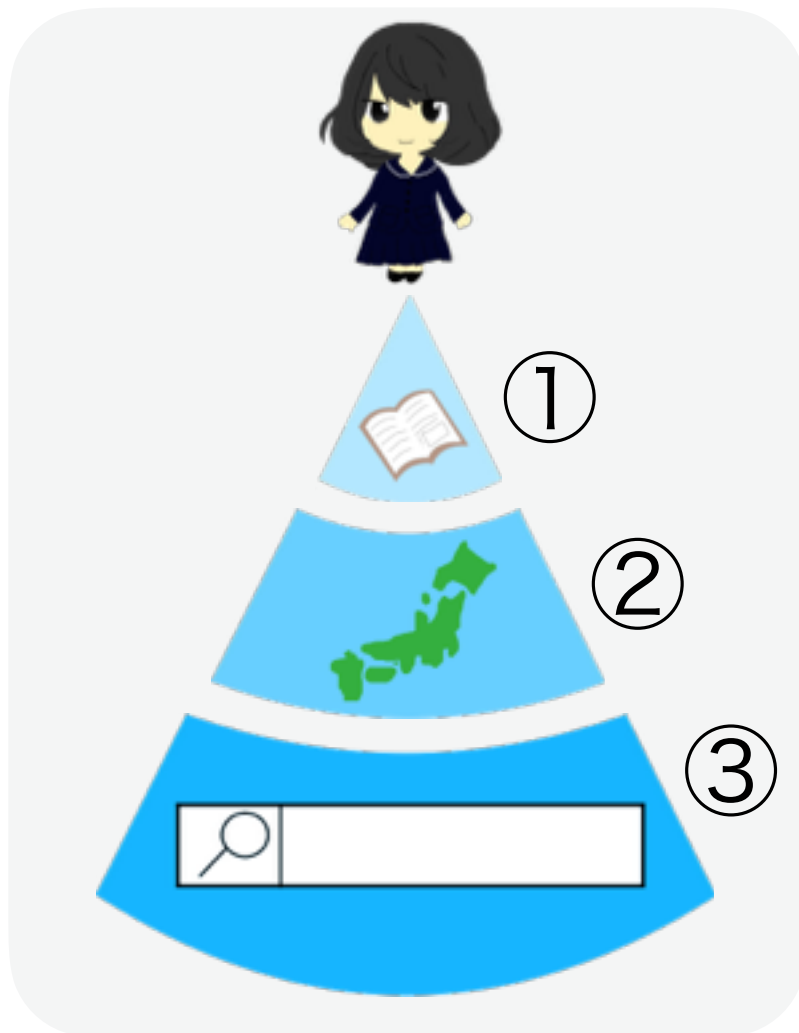
提供する3機能

e-Stat Junior

①単元の範囲に絞った検索

②地域別の情報取得

③キーワード検索



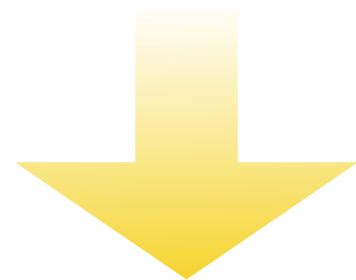
小学生 中学生

e-Stat Junior

検索

食糧問題—公民
日本の財政—公民
台風—理科
自分の街のことを知ろう
地域別統計
移り変わりがわかる統計
年度別統計
教科別統計

e-Stat Junior の導入



教育への大きな効果が期待できる

統計データへの
アクセスを簡単に

統計への
関心を高める

アクティブ
ラーニングの促進

似ているキーワードのSuggest

The screenshot shows the e-Stat Junior search interface. At the top right, there are two tabs: '小学生' (Elementary School) and '中学生' (Middle School). The main area features a search bar with the text 'インターネット' (Internet) and a '検索' (Search) button. Below the search bar, a dropdown menu displays suggestions: 'インターネット 青少年', 'インターネット 利用実態', and '似ているキーワード' (Similar keywords). The '似ているキーワード' section lists '情報' (Information) and '通信' (Communication). At the bottom, there are several category buttons: '食糧問題一公民', '日本の財政一公民', '台風一理科', '地域別統計', '年度別統計', and '教科別統計'.

概要とサンプルの表示

小学生 中学生

e-Stat Junior

インターネット 検索

「インターネット」の検索結果 567 件

青少年のインターネット利用環境実態
学校種別・性別で青少年がどのようなデバイスでインターネットを使っているかについての調査
キーワード： インターネット, デバイス, 青少年, 県別, 学校別,

青少年のインターネット利用環境実態
学校種別・性別で青少年がどのようなデバイスでインターネットを使っているかについての調査
キーワード： インターネット, デバイス, 青少年, 県別, 学校別,

青少年のインターネット利用環境実態
学校種別・性別で青少年がどのようなデバイスでインターネットを使っているかについての調査
キーワード： インターネット, デバイス, 青少年, 県別, 学校別,

青少年のインターネット利用環境実態
学校種別・性別で青少年がどのようなデバイスでインターネットを使っているかについての調査
キーワード： インターネット, デバイス, 青少年, 県別, 学校別,

Sample

調査項目	スマートフォン	携帯スマートフォン	機能型スマートフォン	携帯電話	機能型携帯電話	ノートパソコン	タブレット	学習用タブレット	子供用タブレット	教育用タブレット	携帯ゲーム機		
【調査対象】	3461	448	0.6	1.7	2.9	11.4	8.9	24.6	11.9	14	5.9	0.3	29.4
調査方法(質問-WEB)	3395	445	0.6	1.8	3	11.4	9	24.5	11.9	13.9	5.9	0.3	29.3
WEB調査	56	643	1.8	-	-	10.7	7.1	30.4	12.5	19.6	1.8	-	26.7
【性別】													
小学生(計)	1000	11.7	0.3	2.8	2.9	10.8	21.9	18.7	8.3	14.3	6.1	0.6	9.8
男子	524	11.4	0.4	1.7	2.6	7.7	19.9	20.8	8.2	16.3	5.4	0.7	7.1
女子	546	11.9	0.2	3.9	2.9	12.9	23.6	16.7	8.4	12.3	6.9	0.4	12.5
中学生(計)	1209	37.5	1	1.7	3.7	18.7	9	25.6	11.7	17.1	9	0.2	20
男子	654	33.3	0.9	1.8	4	13.5	4.3	25.1	12.2	17.7	8.1	0.2	27.1
女子	676	41.2	1	1.5	3.4	19.9	5.9	26.1	11.1	16.4	9.9	0.3	24.9
高校生(計)	1007	89.1	0.5	0.8	2	5.1	0.5	30	16.1	10	1.7	-	34.7
男子	491	88	0.6	0.8	2.4	5.1	0.2	27.9	14.3	9.6	1.4	-	30.5
女子	516	90.1	0.2	0.8	1.6	5	0.8	32	17.8	10.5	1.9	-	38.9
【調査対象】													
【調査対象】	2117	47	0.6	1.7	2.9	11.5	8.5	25.6	12.2	14.4	6.1	0.3	28.9
【調査対象】	267	24	0.7	2.2	3	10.9	13.5	10	9.7	10.1	4.1	-	13.7
【調査対象】	57	19.3	-	3.5	5.3	7	12.3	12.3	5.3	12.3	3.5	-	10.5
【調査対象】	1000	11.7	0.3	2.8	2.9	10.8	21.9	18.7	8.3	14.3	6.1	0.6	9.8
【調査対象】	674	12	0.3	2.9	2.7	11.4	22.5	20.1	8.2	15	6.4	0.7	10.9
【調査対象】	169	6.5	-	1.8	3	8.9	20.1	13.6	10.1	10.7	5.3	-	5.9
【調査対象】	37	2.7	-	9.4	5.4	5.4	13.5	8.1	2.7	13.5	2.7	-	5.4
【調査対象】	1209	37.5	1	1.7	3.7	18.7	9	25.6	11.7	17.1	9	0.2	20
【調査対象】	1286	37.8	0.9	1.6	3.6	18.8	5	25.9	11.8	17.4	8.2	0.2	21
【調査対象】	49	28.6	4.1	4.1	14.3	4.1	16.4	6.1	12.2	4.1	-	-	20.8
【調査対象】	14	28.6	-	-	7.1	16.2	7.1	21.6	16.2	7.1	7.1	-	28.6
【調査対象】	1007	89.1	0.5	0.8	2	5.1	0.5	30	16.1	10	1.7	-	34.7
【調査対象】	895	89.9	0.5	0.7	2	4.7	0.4	30.7	16.3	10.2	1.8	-	35.8
【調査対象】	46	39.9	-	2.2	2.2	1.9	-	17.4	1.9	6.9	-	-	19.6
【調査対象】	6	100	-	-	-	-	-	16.7	16.7	-	-	-	-
【調査対象】	1801	52	0.8	2.2	3.6	12	8.1	34.1	16.1	19.5	8.7	0.4	31

内容
学校種別・性別で青少年がどのようなデバイスでインターネットを使っているかについての調査
キーワード： インターネット, デバイス, 青少年, 県別, 学校別,

ダウンロード 詳細

<戻る 1. 2. 3. 4. 次へ>

プレビューを表示

e-Stat Junior

検索

小学生

中学生

せいしょうねん
青少年のインターネット利用環境実態>利用機器

ないよう
内容
がっこうしゅべつ・せいべつ せいしょうねん
学校種別・性別で青少年がどのようなデバイスでインターネットを使っ
ているかについての調査

しゅうけい しょうちょう
集計した省庁：〇〇省
かこ ちょうさ
過去の調査：平成21年度・平成22年度・平成23年度

キーワード：インターネット, デバイス, 青少年, 県別, 学校別

データ項目例：地域, 性別, 学校種別

どうじ ちょうさ こうもく
同時に調査された項目

スマホでのネット利用状況

携帯での利用項目

ゲーム機での利用項目

関連項目

ダウンロード

お気に入り

プレビュー

調査票101 あなたは、下記の機器を利用していますか。この中から、あてはまるものをすべてあげてください。(1つでも)

青少年分析種別数	スマートフォン	格安スマートフォン	機能限定スマートフォン	折りたたみスマートフォン	携帯電話	機能限定電話	ノートパソコン	デスクトップパソコン	タブレット	学習用タブレット	子供向け端末	携帯音楽プレーヤー	携帯ゲーム機	据置型ゲーム機		
総数	3441	445	0.6	1.7	2.9	11.4	8.9	24.6	11.9	14	0.9	0.3	25.4	43.4	25.9	
性別																
男子	3385	445	0.6	1.8	3	11.4	9	24.5	11.9	13.9	0.9	0.3	25.3	43.5	25.8	
女子	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
学年																
小学生	1080	11.7	0.3	2.8	2.9	10.8	21.9	18.7	8.3	14.3	6.1	0.6	9.8	55.7	31.5	
中学生	534	11.4	0.4	1.7	2.8	7.7	19.9	20.8	8.2	16.3	5.4	0.7	7.1	61.8	38.8	
高校生	546	11.9	0.2	3.8	2.9	13.9	23.8	18.7	8.4	12.3	6.8	0.4	12.5	49.8	24.4	
地域																
関東	1229	37.3	1	1.7	3.7	16.7	5	25.6	11.7	17.1	9	0.2	31	42.6	26.4	
中部	854	33.3	0.9	1.8	4	13.5	4.3	25.1	12.2	17.7	8.1	0.2	27.1	51.8	33.5	
関西	675	41.2	1	1.5	3.4	19.9	5.6	26.1	11.1	16.4	9.8	0.3	34.8	33.6	19.6	
北陸	1007	89.1	0.5	0.8	2	5.1	0.5	30	16.1	10	1.7	0	34.7	31.7	19.7	
東北	491	88	0.8	0.8	2.4	9.1	0.2	27.9	14.3	9.6	1.4	0	35.3	41.5	26.3	
北海道	516	90.1	0.2	0.8	1.6	5	0.8	32	17.8	10.5	1.9	0	38.6	22.3	13.4	
学習経験・学校種別																
説明を受けたが学んだ	3117	47	0.6	1.7	2.9	11.5	8.5	25.6	12.2	14.4	6.1	0.3	26.8	43.3	26.3	
説明を受けたが学んだ	287	24	0.7	2.2	3	10.5	13.5	15	9.7	10.1	4.1	0	12.7	44.9	21.7	
説明を受けたが学んだ	57	19.3	0	0	0	5.3	7	12.3	5.3	12.3	3.5	0	10.5	45.6	24.6	
説明を受けたが学んだ	1080	11.7	0.3	2.8	2.9	10.8	21.9	18.7	8.3	14.3	6.1	0.6	9.8	55.7	31.5	
説明を受けたが学んだ	874	13	0.3	2.9	2.7	11.4	22.5	20.1	8.2	15	6.4	0.7	10.8	56.6	32.8	
説明を受けたが学んだ	189	43.5	0	1.8	3	8.9	20.1	13.6	10.1	10.7	5.3	0	5.9	53.3	27.2	
説明を受けたが学んだ	37	2.7	0	0	0	5.4	5.4	13.5	8.1	2.7	13.5	2.7	0	5.4	45.9	18.9
説明を受けたが学んだ	1229	37.3	1	1.7	3.7	16.7	5	25.6	11.7	17.1	9	0.2	31	42.6	26.4	
説明を受けたが学んだ	1266	37.8	0.9	1.6	3.6	16.8	5	25.9	11.6	17.4	9.2	0.2	31	42.7	26.6	
説明を受けたが学んだ	49	28.6	4.1	4.1	4.1	14.3	4.1	18.4	6.1	12.2	4.1	0	35.6	36.7	16.3	
説明を受けたが学んだ	14	28.6	0	0	7.1	14.3	7.1	21.4	14.3	7.1	7.1	0	28.6	57.1	42.9	
説明を受けたが学んだ	1007	89.1	0.5	0.8	2	5.1	0.5	30	16.1	10	1.7	0	34.7	31.7	19.7	
説明を受けたが学んだ	950	89.5	0.5	0.7	2	4.7	0.4	30.7	16.3	10.2	1.8	0	35.6	32	20.2	
説明を受けたが学んだ	46	78.3	0	2.2	2.2	19	0	17.4	19	6.5	0	0	19.6	26.1	6.7	
説明を受けたが学んだ	6	100	0	0	0	16.7	16.7	0	16.7	0	0	0	16.7	16.7	16.7	
説明を受けたが学んだ	1651	53	0.8	2.2	3.6	12	8.1	24.1	16.1	19.5	8.7	0.4	31	48.8	31.5	

ふりがなを表示

せいしょうねん 青少年のインターネット りようかんきょうじつたい 利用環境実態 りようきき > 利用機器

ないよう 内容
がっこうしゅべつ・せいべつ 学校種別・性別で青少年が せいしょうねん どのようなデバイスでインターネット ちようさ しているかについての調査

しゅうけい 集計した しょうちよう 省庁：〇〇省
かこ 過去の ちようさ 調査： 平成 21 年度・平成 22

キーワード： インターネット、デバ

小学生

中学生

関連項目のSuggest

キーワード： インターネット, デバイス, 青少年, 県別, 学校別

デー

これを見た人が使っているデータ
情報化社会と青少年について

どう
同時

情報白書

同じキーワードが入っているデータ

青少年の生活と意識について

情報化社会と青少年について

スマ

通信利用動向

ゲーム機での利用項目

関連項目

ダウンロード

女子
高校生(計)
男子
女子
【啓発学習経験・学
説明を受けたり学
教えてもらったり
わからない
小学生(計)
説明を受けたり学
教えてもらったり
わからない
中学生(計)
説明を受けたり学
教えてもらったり
わからない
高校生(計)
説明を受けたり学
教えてもらったり
わからない
【家庭のルール・学
ルールを決めてい

同時に調査された項目の表示

しゅうけい しょうちょう
集計した省庁：○○省

かこ ちょうさ
過去の調査：平成 21 年度・平成 22 年度・平成 23 年度

キーワード：インターネット, デバイス, 青少年, 県別, 学校別

データ項目例：地域 性別 学校種別

携帯電話でインターネットを使って何をしているかについての調査

同時に調査された項目

スマホでのネット利用状況

携帯での利用項目

ゲーム機での利用項目

関連項目

ダウンロード

訪問面接調査	3385	44.5
WEB調査	56	64.3
[性・学校種別]		
小学生(計)	1080	11.7
男子	534	11.4
女子	546	11.9
中学生(計)	1329	37.3
男子	654	33.3
女子	675	41.2
高校生(計)	1007	89.1
男子	491	88
女子	516	90.1
[啓発学習経験・学校種別]		
説明を受けたり学んだりした	3117	47
教えてもらったり学んだりしたことはない	267	24
わからない	57	19.3
小学生(計)	1080	11.7
説明を受けたり学んだりした	874	13
教えてもらったり学んだりしたことはない	169	6.5
わからない	37	2.7
中学生(計)	1329	37.3
説明を受けたり学んだりした	1266	37.8
教えてもらったり学んだりしたことはない	49	28.6
わからない	14	28.6
高校生(計)	1007	89.1
説明を受けたり学んだりした	955	89.5
教えてもらったり学んだりしたことはない	46	78.3
わからない	6	100
[家庭のルール・学校種別]		
ルールを決めている(計)	1651	53

授業の中で先生がキーワードを発問

先生と生徒と一緒に検索

生徒が自宅でも検索を行う

生徒の主体的な学習を促進

現場の意見(要約)

e-Stat Junior

※3

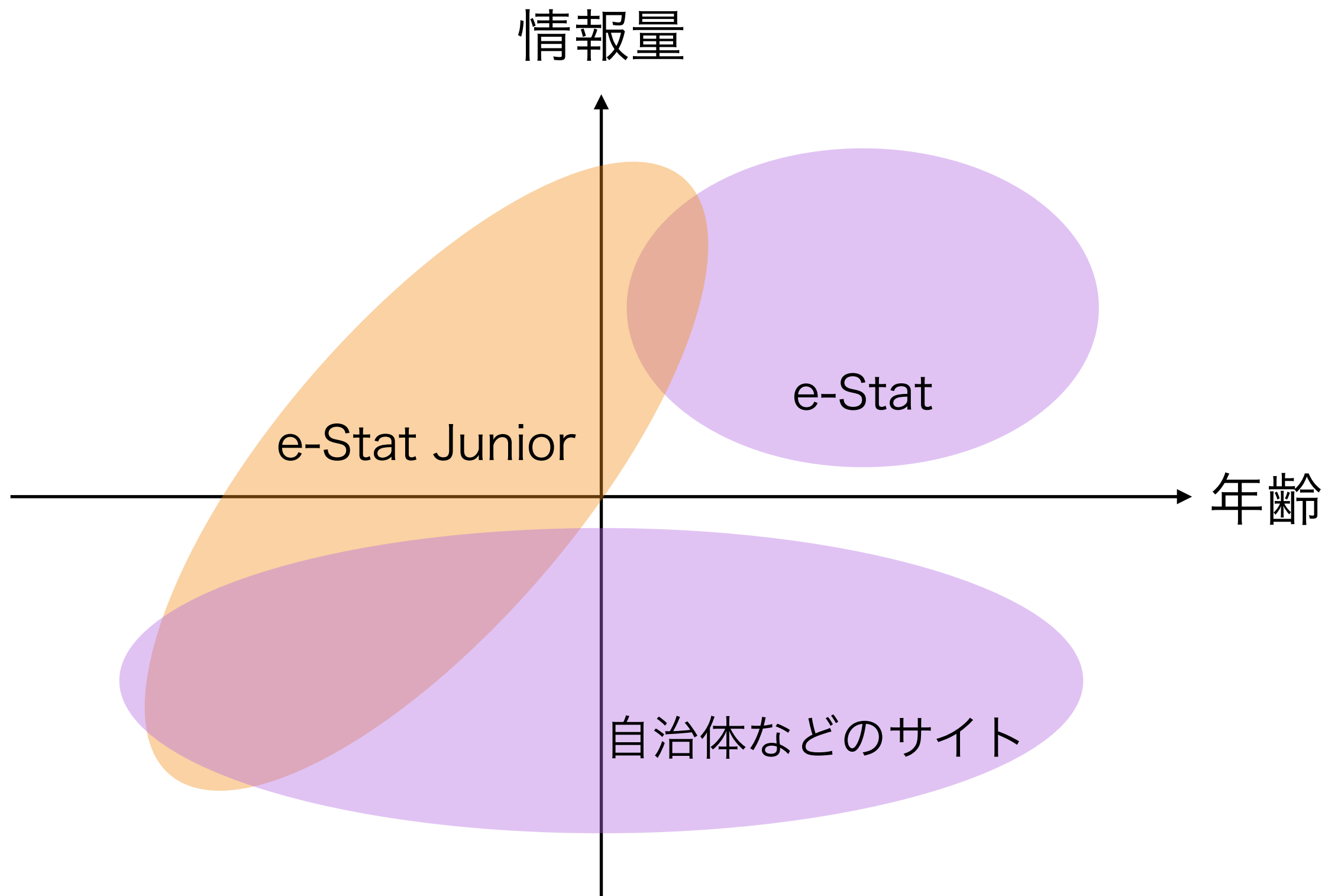
「データの利活用や, それを通じて社会問題を考えていくことは, 一朝一夕で出来るものではなく, 小学生のような初期段階から積み重ねていくことが重要だ. それをサポートする e-Stat Juniorは利用価値がある.」 (社会科の村田辰明先生)

※4

「生徒自らが主体的に学ぶアクティブ・ラーニングのような学び方によって, 授業の理解が深まると言われている. e-Stat Juniorのような, 生徒が自分で資料検索が出来る手段によって, 探求型学習を授業に導入しやすくなる.」 (総合的な学習の河野隆一先生)

e-Stat Juniorの位置付け

e-Stat Junior



e-Stat Junior 導入によって変わること

小中学校などの
教育現場で
統計利用を促進

統計を用いた
論理的思考
能力の育成

アクティブ
ラーニングの
さらなる促進

政府が実施する意義は大きい

信頼性のある
データを提供

学習指導要領と
密に連携できる

統計学習の
さらなる推進と
人材の育成

取材結果等詳細資料

取材結果(中学校その1)

- ・調べ学習で統計を利用すべき？

中学では、社会科の地理の領域で統計を教えるという授業がある

中学の場合は教科ごとに統計を利用する単元がある→それらと結びつけ

図書館では、レファレンス（こういう本がある、サイトがある）

アクティブラーニングが叫ばれているので、これらの統計を自ら学ぶという方向に結びつければ意味がある

- ・実際に授業で統計を使ったレポートなどを出してくる中学生はいるか？

現状ではない

今後は必要&意見を述べるときに、数量的な根拠は絶対必要になってくる

学校図書館を使って学ぶ→アクティブラーニング

学校図書館協議会（情報・メディアを活用する学び方の指導体系表

- ・現在はどういう媒体から情報を取らせているか？

基本的には自治体のサイト

公立の学校では特に地域学習がある→主に自治体の統計から

白書の類い

取材結果(中学校その2)

- e-Statを全部使えればベストだが、現状としてどのように使いにくい？

中学生にとって、たくさんの統計があることはメリットではない

どの統計を使えばいいかわからない

どの統計を使えば、どのような情報が得られるのかわからない

モデルとして、このようなデータを使えばこのような状況が現れるというデータを提示すべき

数字の羅列をどう活用すべきという指針があったほうがいい

- juniorを生徒に使わせる場合、どのようなアプローチがあるか？

中学校の場合、教科が基準になっているので、教科の先生から課題が出る

小学校の場合、学級別なので、学習指導要領に合わせて6年生ならこれをみてみな、といったサジェスト
单元ごとにこういう資料があるという一覧は教える側としても使える

子どもの食いつきを狙うならば、新しく追加されたデータを紹介するようにしたほうがいい

授業で教えた内容をe-statで調べるだけでは習慣にならない

どんどん新しい面白い情報に出会える環境にすることで、日常的に使ってもらえるようになる

授業で教えたことから、このサイトに出会い、日常的に見るようになれば、授業と関係の無いところで、
こんな面白い統計があるんだ、という発見につながる

アプローチは授業→生徒が自分からアクセスするように

取材結果(中学校その3)

- ・このサイトによって授業を変えられる？
ActiveLearning（黒板で教えていた授業から、みずから進んで学んで発表、子ども達同士で学び合うということが増えていくのではないか
- ・調べ学習と統計との関連
根拠のあるデータを提示できるようになるのは大事
- ・統計を小中学生が学ぶ意義
社会に出てから説得力のある数量データを提示して説明できないとダメ
- ・統計を授業で利用すべきか？
社会の授業で教科書にこんなことが書いてあることを疑って考えることが大事
そして生徒自身が進んで学ぶようになるべき。
- ・中学生は国レベルのデータは使わない
小中学生は地域のことを調べるのがメイン
国レベルのテーマにはなりにくい
(地域と国レベルを比較できるようにするアプローチがあったほうがいい?)

取材結果(中学校その4)

- 生徒にe-Statを勧める？
社会の先生ならe-Statを勧めると思う
- 現在のe-statの問題
なにがあるかわからない
検索でヒットした先にある、どんないい物が得られるかがわかりにくい
もしそれがわかるサンプルがあればモチベーションにつながる
- 生徒自身が統計情報にアクセスしやすくなれば、授業がどのように変わると思うか？
生徒主体で学ぶことでActiveLearningにつながる
学びを深められる
授業を受け身で聴くより、アクティブラーニングのように自分から調べるという形の学びのほうが学習効果が高いといわれている
- 政府が提供する意義
統計はどのように作られてるの？国税調査とかから作られてる。
子どもが統計に触れることで、政府が国税調査をやっている意味、ひいては、政府がなにをやっているのかを子どもが知るよい機会となる→これは政府のメリットにもなる

取材結果(小学校その1)

- ・小学校での学習形態

話し合い学習→調べ学習→話し合い学習の順番で学びを行う

話し合いと話し合いの間に調べ学習を行うことで、意見や考えに深みが出る
データなので、そこに予測ではなく、きちんとした学習が出来る。

第一次資料に当たることが一番土台になってくる（一番正確なデータ）

- ・小学生のうちから統計に触れられるとしたら？

論理的に思考していく力がつく

このような学習は、一度やれば身につくわけではなく、何度も同じようなことを繰り返すことが大事
実は、小学生、中学生、高校生、大人でもたとえば食糧自給率の問題は出てくる

繰り返すことで確かな論理的思考力が身についていく

学年が上がっていくと厚みが変わるけど、繰り返さないと問題解決能力は上がらない

しかし、小学生には小学生なりの接し方がある、ふさわしいアプローチがある

小学生が使う統計は、数字が三つぐらい並んでたり、年次のデータであったり、簡単なデータ（小3から）
同じような話題をいろいろな年齢でアプローチしていったときに、小学生がキーワードを検索したときに、
情報が多すぎて、難しくて出てきたデータを使えない。

最終的には問題解決なので情報の海に飛び込んでいって情報を取捨選択していけばいいが、小学生には
ある程度閉じられた情報の海で探さないと学習にならない

先生としては、そのような閉じられた情報の海が見つからないので、困っている先生や子どもは多い
→このサービスは使える可能性が高い

取材結果(小学校その2)

- ・実際にどういうものが閉じられた情報の海になりうるか？
単元が最小の学習単位になり得る。その範囲の壁に囲まれた情報があれば先生は使いやすい。
小学校では、情報を最初に使うのは”先生”
先生がキーワード検索して、情報を見つけてというアプローチで授業前に探す→子どもは、
良いキーワードを見つけにくいので、関連ワードが出てくるのはいいと思う。
学習指導要領→教科→単元に表示し、難易度順に並んでいると、自分のレベルに合わせたものを見ることが出来る。
小学生にとってはキーワード検索より、単元に合わせた方がよい
プレビュー画面はいいと思う。実際に、子どもが開いてみると難しすぎたり、大人でも読めないようなデータが表示されることがある。ダウンロードする前に内容がわかるのはよい
法律に関わるような、いろいろな意見があるようなデリケートな話題の時は、グーグルの検索結果ではなく、法務省きつずのような公的機関のサイトを使っている
- ・小学生の使い方のメインは、そのままネットの情報をノートに移すというのが多いか？
ダウンロードをいちいちするとめんどくさい
簡単なデータが載っていて、それをノートに書き写すというのが多い

取材結果(小学校その3)

- 電子黒板などを使っての授業でデータを出すときは？
見せたいデータはすでにPowerPointにしている場合が多い。
ネットで検索するとすれば、検索画面にグラビアアイドルの写真が出てくるなどということがあってはならないので、必要なページにたどり着くまで画面を隠す。
授業の話の中で、生徒からの想定外の質問があった場合は生徒にキーワードどうすればいい？という発問
打ち込むのは先生だけど、キーワードは子どもが考えることで、中間を取る
自分で授業ないでパソコンをつかって検索とかをさせると授業が進まない
- 調べ学習を家でやってこさせるときは？
六年生の最後に、自分の国を選択して調べる授業がある→このときは、いくつかの検索キーワードは先生からいくつか指定しておいて、その上で自由に検索することもOKにする。
書籍、聞き取り、ネットのような媒体の指定はせずに、生徒が使いやすいor情報のあるものを選ばせる。
最近の子どもはどんどんネットを使う技術が上がっている

取材結果(小学校その4)

- e-stat juniorを授業で使うとすれば？
要らない情報が出てこない（政府が出しているから
よって、PowerPointに事前に入れておく必要がないかもしれない→その場で、リアルタイムに検索することができるかもしれない
関連キーワードがでてくることで、それをういて、「次にどれを検索したい？」という発問とか
大きな時間をかけずに的確に情報に当たれるなというのはある
- 毎日更新した面白い統計紹介
毎日の自主学習で毎日更新されるデータを利用→実は、全く関係なさそうだけど、実は毎日見ていくと
関係のあるデータ→小学生にとって大きな発見→これが統計の面白さの発見になる
- e-stat juniorの問題点
あんまり便利になりすぎると勉強にならない？
自分で考えなくなる
今は、グーグルとかで検索してもまとめがある。小学生にとって、e-stat juniorのほうが面白いとか
そういうものがなければ、使うことにならないかもしれない→確実な情報という点では学校としては
使える（メディアリテラシーの教育としても）

取材結果(小学校その5)

- ・ アクティブラーニングを小学生にとっても、自分だけの力で利用できる資料があればいいか？
自分でデータを見つけるプロセスを踏むことは大切。しかし、小学生には、まず、先生が見せることが必要になる。先生がみせる→一緒に探す→小六とかでは自分で探せるように。
小学生は学校でやった方法で、自分の疑問を家でも調べてみたりする。
学校で先生が使って、子どもも家に帰って仕えるというのは大きい
例えば歴史の授業で教育番組を一部分だけ見せる→すると生徒が家で全部見てきてノートにまとめたりする。
(興味を持てば自分で見る。e-stat juniorも、先生が見せる→生徒が家で自分でやってみるというプロセスが踏めるのではないか)
家に帰って、同じことをやってみよう、少し違うことをやってみよう、逆をやってみようというのは小学生は絶対にする。→学校と家で同じページが見れるのは大きい。
こういうことがあった。なぜ？数字で証明するという流れが小学校では多い
iPadとかのリファレンスアプリとしての利用

1	現場ではどのように調べ学習を行っているか
2	第一次資料, 情報源は何か
3	統計の力をつけるためには何が必要か
4	調べ学習でどんな教材, サイトを利用したいか
5	生徒がどのようなことで調べ学習に興味をもつか
6	統計を用いるときの問題点
7	統計学習のメリット

1	話し合い学習→調べ学習→話し合い学習・・・を繰り返す
2	自治体のサイトや公的機関のサイト
3	統計を用いた学習を繰り返し行う
4	ある程度情報が限られたサイトがよい(法務省キッズなど)
5	あまり媒体を指定をしない方が興味を持つ
6	Googleなどを使わない
7	論理的思考能力が育成できる

1	自治体サイトや各白書を用いて
2	自治体のサイトや公的機関のサイト, 各白書
3	統計に対して疑問をもつ
4	ある程度情報が限られたサイト
5	面白い統計や新しい統計を紹介する
6	この統計を使えばこういったことが得られるという結果
7	データを提示し説得力のある説明を行えるようになる

- ※1 総務省統計局「なるほど統計学園」 (<http://www.stat.go.jp/naruhodo/>) 2016/04/08確認
- ※2 総務省統計局「政府統計の総合窓口 e-Stat」 (<http://www.e-stat.go.jp/>) 2016/04/08確認
- ※3 関西学院初等部 村田辰明氏 談 (取材：佐々木雄司)
- ※4 関西学院中学部 河野隆一氏 談 (取材：佐々木雄司)